

4 教科書定価の改訂

教科書の定価は、文部大臣の認可事項であるが、最近における諸物価の騰貴に伴ない、定価改訂の必要があるとの見解から、昭和37年1月6日付文部省告示第1号及び第2号をもって、教科書定価の認可基準を改正することになった。

この改正の結果、最高基準は14%引きあげられることになり、昭和37年度使用教科書目録に掲載された予定定価を上回る定価で販売されることになった。

前期用については、すでに各取次供給所に送本されており、奥付の定価を印刷しなおすことができず、発行者側から保護者および各学校に連絡することによって処置した。その結果、混乱はなく、円滑に供給された。

第16節 農業高校の 体質改善

203万の55%の農業人口を有する本県において農業の盛衰は直ちに県勢を左右する問題である。最近における科学技術の飛躍的な発展は、産業界をして生産技術と経営方法において、一大変革をきたし、殊に農業においては第二次、第三次産業界の変革に対処し経営と技術の革新をはかり経済資本の増強によって所得の均衡を保ち、農業生活の向上につとめなければならない。それがためには畜産園芸に重点をおいた体質改善をおこなうこととして、3箇年計画の第1年次計画とし、次の8校を対象として畜産科の強化をはかった。

1 対象校と予算配当額

- 1 既設の畜産科を強化した学校 (2校)
福島農蚕高校 大沼高校 各200万円
- 2 農業科を畜産科に転科した学校 (6校)
相馬農業高校 双葉農業高校 小野高校
東白川農商高校 会津農林高校 岩瀬農業高校
各400万円
- 3 教員研修費その他 200万円
- 4 農民車購入費 400万円

2 体質改善費の支出内訳

- (1) 工事請負費 16.089.000円
ルーズハウジングバーン式牛舎、デンマーク式豚舎、牛乳処理室、等
- (2) 施設費 6.646.000円
北海道産登録乳牛15頭
神奈川県産繁殖豚100頭、4輪車等
- (3) 備品費 9.265.000円
農民車(10台) ミルカー牛乳処理機械、肉加工機械類、等

(4)	研修費、事務費	2.000.000円
	研修員	農業科教員 27名
	研修期間	30日
	派遣先	北海道大学酪 (酪農) 酪農学園大学 (酪農) 神奈川県種畜場 (豚、鶏) 農林省中国農業試験場 (和牛)

その他、設計手数料、旅費、等

農業経営の近代的施設、設備の充実と合理的経営による、パイロット、スクールとしての目的を果たし、地域に貢献することが体質改善の目標もあるが、みかけだけに終わることなく、農村振興のために立ち上がりうとする中堅青年の人でも多く輩出することを期待する。